

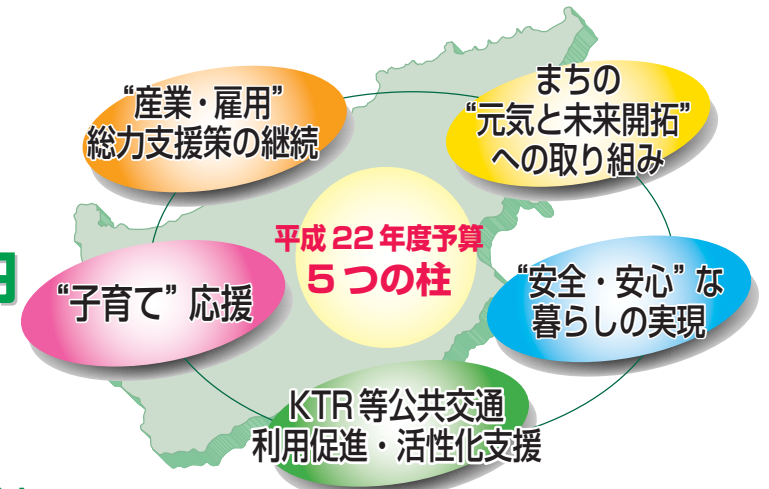
# 市民生活最優先の予算

産業・雇用・生活を総力を挙げて支え  
まちの元気と未来開拓を推進する

## 一般会計予算

293億4,000万円

(対前年度比 △2.1%)



## 平成22年度当初予算総額

会計名称	平成22年度	平成21年度	平成21年度との比較
<b>一般会計</b>	293億4,000万円	299億6,000万円	△6億2,000万円 (△2.1%)
<b>特別会計</b>			
国民健康保険事業	68億300万円	68億4,000万円	△3,700万円 (△0.5%)
国民健康保険直営診療所事業	4億500万円	4億2,600万円	△2,100万円 (△4.9%)
老人保健事業	510万円	3,100万円	△2,590万円 (△83.5%)
後期高齢者医療事業	5億5,920万円	6億400万円	△4,480万円 (△7.4%)
介護保険事業	47億2,900万円	46億7,000万円	5,900万円 (1.3%)
介護サービス事業	6億8,700万円	6億7,500万円	1,200万円 (1.8%)
簡易水道事業	12億1,500万円	12億1,900万円	△400万円 (△0.3%)
集落排水事業	7億5,300万円	6億4,100万円	1億1,200万円 (17.5%)
公共下水道事業	28億9,800万円	32億1,500万円	△3億1,700万円 (△9.9%)
浄化槽整備事業	1億6,800万円	1億500万円	6,300万円 (60.0%)
工業用地造成事業	1億5,550万円	1億300万円	5,250万円 (51.0%)
宅地造成事業	3,580万円	5,600万円	△2,020万円 (△36.1%)
峰山財産区	650万円	670万円	△20万円 (△3.0%)
五箇財産区	200万円	220万円	△20万円 (△9.1%)
<b>特別会計合計</b>	184億2,210万円	185億9,390万円	△1億7,180万円 (△0.9%)
<b>企業会計</b>			
水道事業	13億1,113万円	20億2,258万円	△7億1,145万円 (△35.2%)
病院事業	65億7,773万円	70億4,101万円	△4億6,328万円 (△6.6%)
<b>企業会計合計</b>	78億8,886万円	90億6,359万円	△11億7,473万円 (△13.0%)
<b>京丹後市総合計</b>	556億5,096万円	576億1,749万円	△19億6,653万円 (△3.4%)

総額は、平成21年度当初予算と比較すると19億6,653万円、増減率3.4%の減となっています。一般会計では6億2,000万円、2.1%減の予算としています。

**一般会計とは** 市税や地方交付税などを主な財源として、福祉や教育、道路や公園の整備など、さまざまな分野の仕事を行うための会計で、多くの事業やサービスは、この一般会計で行っています。

**特別会計とは** 国民健康保険や公共下水道のように、保険税や使用料などの特定の収入により特定の事業を行うため、一般会計と区分するために設けられている会計です。

**公営企業会計とは** 地方公営企業法の適用を受けて、地方公共団体が経営する水道や病院事業のように、その事業収入により経営を行うために設けられている会計です。



## はじめに

市民のみなさんには、日ごろから市のまちづくりに対して深いご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、景気の低迷により本市の地域産業は総じて依然、厳しい状況にありますが、市民のみなさんの仕事や生活を全力でお支えするとともに、未来への飛躍・発展に向けた元気と笑顔があふれるまちづくりを進めていくことが行政

に課せられた使命ととらえています。

他方で、本市の財政をめぐるしましては、今後、第2次行財政改革推進計画における簡易水道などの経営健全化への取り組みとともに、平成22年度からは、保険給付費（医療費）の増加などを背景に国民健康保険の税率の引き上げをお願いしなければならないなど、現下の厳しい経済情勢にもかかわらず、市民のみなさんに新たなご負担をおかけすることとなりますが、持続可能なまちづくりの上で、現状、どうしても欠かし難いものと考えており、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

こうした中、平成22年度一般会計当初予算を『産業・雇用・生活を総力を挙げて支え、まちの元気と未来開拓を推進する市民生活最優先の予算』と位置付けました。本年度の5つの柱として『Ⅰ.産業・雇用総力支援策の継続』、『Ⅱ.まちの元気と未来開拓への取り組み』、『Ⅲ.子育て応援』、『Ⅳ.安全・安心な暮らしの実現』、『Ⅴ.KTR等公共交通利用促進・活性化支援』に取り組み、市民のみなさんと信頼と連携を深めながら、「支え合う、助け合う、与え合う」心が生きつき、「ありがとう」「おかげさま」の心があふれる共生の里へ、まちづくりを懸命に進めてまいります。

市の予算というのは市民生活に多大な影響を及ぼす行政サービスの大要を定めるものですが、そもそも市民のみなさんのものであり、市は予算の内容をわかりやすく説明する責任があります。そこで、平成22年度も引き続き、「わかりやすいことしの予算」を発行することとしました。

この冊子では、図表や写真を活用し、行政用語や専門用語をできるだけわかりやすい言葉で説明するように心がけました。また、京丹後市の財政状況をグラフなどで示し、市の台所事情を少しでも理解していただけるようにしています。行政と市民のみなさんが力を合わせて、より良いまちづくりを進めるきっかけとなれば幸いです。

平成22年4月

京丹後市長 中山 泰